

【資料2－2】

---

## 角田市第6次総合計画策定支援業務

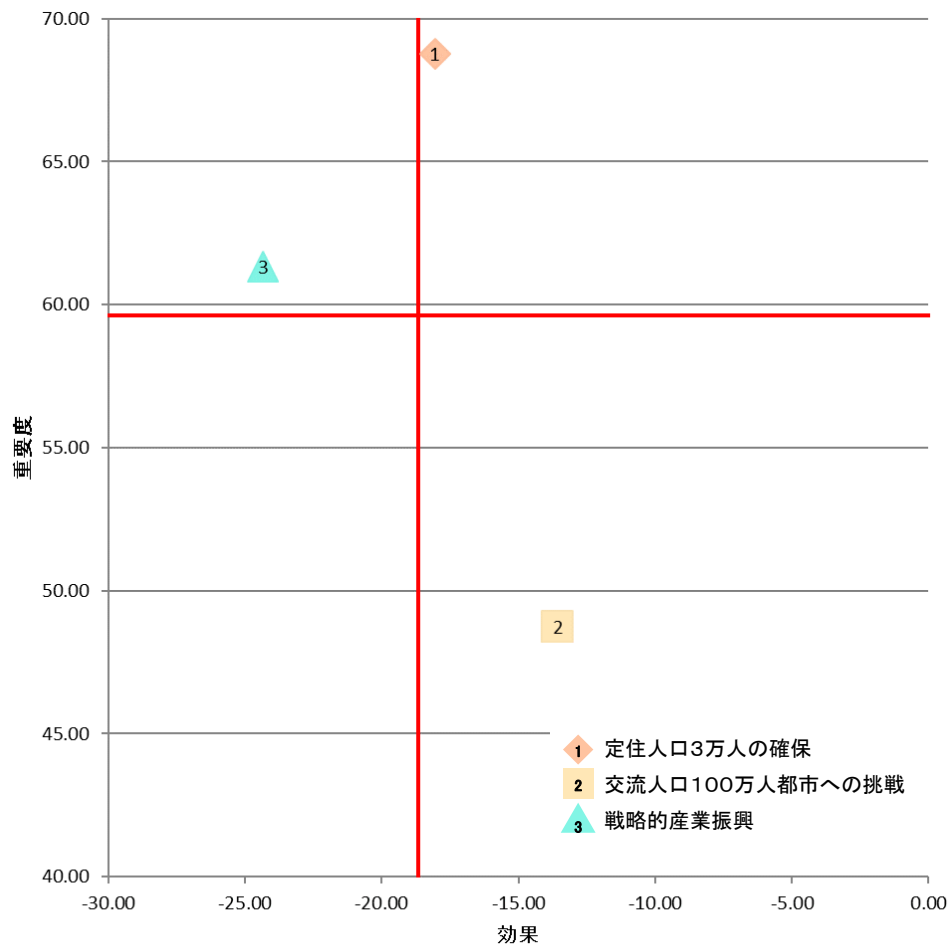
### 第2回角田市長期総合計画審議会資料(追加分)

2020年11月4日

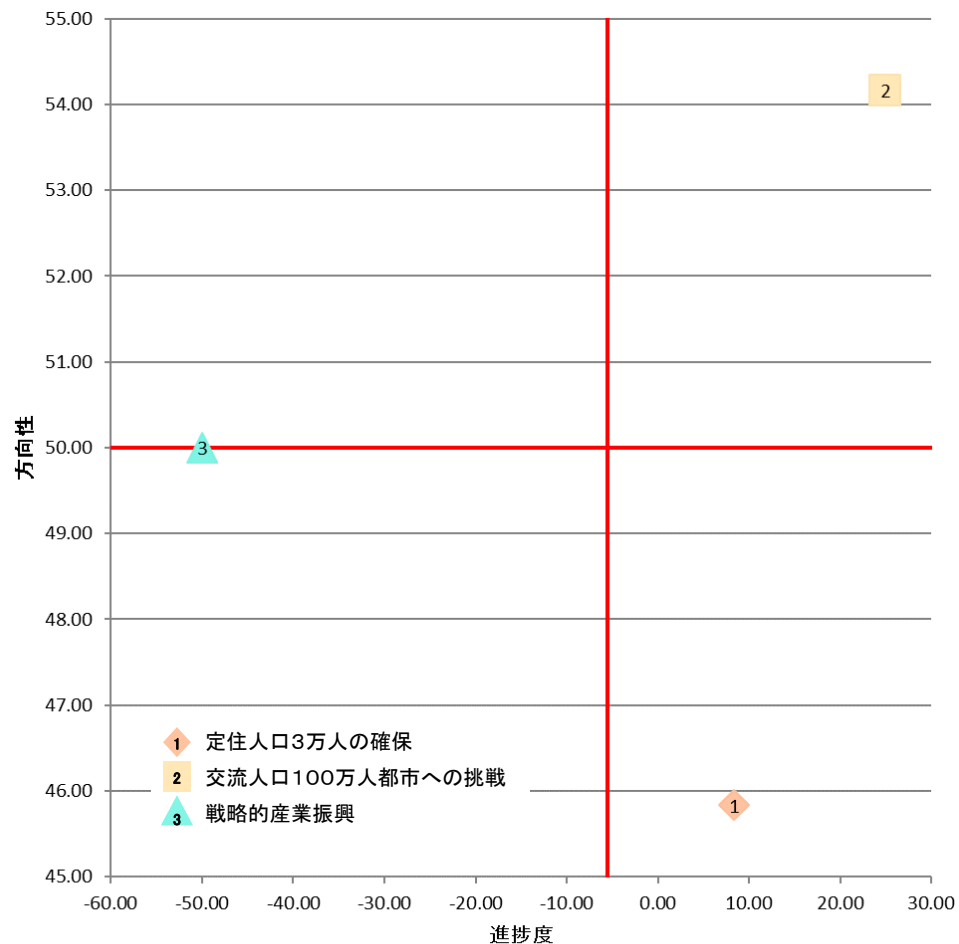
---

2. 市民意識調査、施策の評価分析検証\_市民意識調査および施策評価の分析検証結果\_重点プロジェクト点数化  
**「第2回角田市長期総合計画審議会資料」10ページに記載の配点基準に基づき、  
 重点プロジェクトについて、市民意識調査による「効果」「重要度」、  
 市職員の施策評価による「進捗度」「方向性」の点数化を実施。**

【市民意識調査による効果・重要度からみた重点プロジェクトの位置づけ】



【市職員の施策評価による進捗度・方向性からみた重点プロジェクトの位置づけ】



※散布図中央に示す赤の横線、縦線は、重要度/方向性、効果/進捗度、の各々3要素の平均値を表している。

## 市民意識調査と市職員による施策評価の結果から、3つの重点プロジェクトについて、市民、市職員双方の視点から整理。

### 1 定住人口3万人の確保

市民は「重要度」が高く、「効果」があまり感じられないと考えており、市職員は「進捗度」「方向性」ともに比較的低いと考えている。

⇒人口減少への対策は、最重要課題であり、現状において即効性のある対策が打ち出せていないことが現れていると考えられる。

### 2 交流人口100万人都市への挑戦

市民は「重要度」が比較的低く、「効果」はあまり感じられないと考えており、市職員は「進捗度」「方向性」ともに比較的高いと考えている。

⇒交流人口の増加がもたらす効果が明確でないため、市民にとっては重要度が比較的低いと考えられる。

市職員は、現在、道の駅の賑わいを市内各地に循環させる方策を検討しているため、今後の利活用を踏まえた方向性を見出している結果と考えられる。

### 3 戦略的産業振興

市民は「重要度」が高く、「効果」が感じられないと考えており、市職員は「進捗度」は低いものの、「方向性」は比較的高いと考えている。

⇒産業振興、企業誘致、中心市街地の再生等について、市民は重要と考えているものの、効果が感じられていない。市職員は、産業振興、ブランド化、中心市街地の再生について、今後推進すべきと考えており、企業誘致については、オーダーメイド方式等による企業誘致を継続していく方向性を見出している結果と考えられる。